

第2回 夕張市庁舎整備検討委員会

日時：令和4年9月1日（木）18:30～
場所：拠点複合施設りすた 多目的ホール

<資料の構成>

- 1. 前回の振り返り**
- 2. 庁舎整備地区の選定案について**

1. 前回の振り返り

■ 第1回検討委員会



(令和4年6月16日 市役所4階会議室)

＜庁舎整備に関する市の考え方＞

- 庁舎整備に早急に着手する必要がある
- 整備手法は『**建替え**』とする
- 防災性の観点から『**移転**』とする
- 整備地区は『**清水沢地区**』とする

＜主な意見＞

- 耐震性能不足や老朽化の状況などから、**建替えは仕方がない**。
- 建替えにあたって、**規模は縮小**すべき。
- 市庁舎は夕張市のランドマークとなるものであり、**使いやすいもの、有効なもの**に。
- 耐震性能が不足する建物は**ほかにもある**。
- 災害復旧の**拠点**となるべき現庁舎の**耐震性能はかなり低い**と言えるレベル。
- 庁舎被災によって**災害復旧が遅れる**と**人口減少**にもつながる。
- **人口が多い清水沢地区**への移転が望ましい。
- 庁舎移転後の**本庁地区**のことも考えていかなければならない。
- 市の**中心部にある利便性**から、移転先は**清水沢地区**がよい。
- 移転後、現庁舎は**解体**すべき。
- この検討委員会の**ロードマップ**はあるのか。
- 現庁舎を**現在地とした理由**などを聞きたい。

<頂いた意見に対する市の考え方>

●「規模は縮小」

将来人口推計、必要な職員数などを考慮の上、適正な規模となるよう検討していきたい。

●「使いやすいもの、有効なものに」

【市庁舎単独ではない建物】【他の官公庁】【商業の余地】
【子育て・買い物環境】

「まちづくり」に関連することだと認識しており、市庁舎、又はその周辺にどのような機能があると良いのかについて、今後、庁舎の規模や機能、立地、他の施設との連携、利用者の利便性などを踏まえながら判断していきたいと考えている。

●「耐震性能不足はほかにも」

昭和56年以前の旧耐震基準で整備された施設を多く保有している。本年3月に「夕張市公共施設等総合管理計画」を改定したところであり、将来のまちづくりを見据えながら、集約・統廃合を進め、適正な管理及び配置に取り組む。

●「災害復旧の拠点」

災害時における庁舎の役割を再確認するとともに、その役割を果たすために市庁舎に備えるべき機能はどのようなものなのかということについて、保健師や消防職員などを交えて検討を始めている。

●「本庁地区のこと」

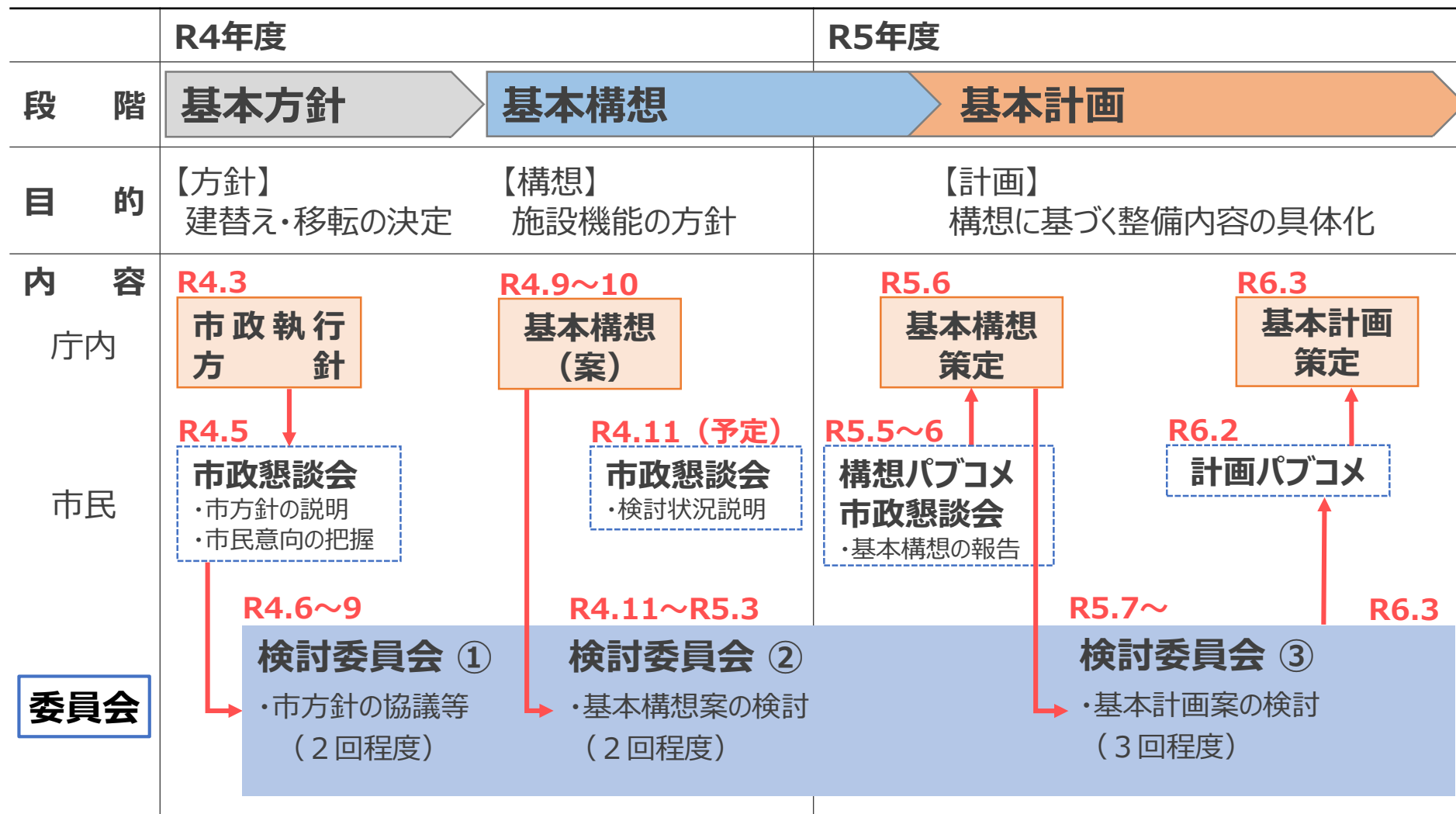
住み続けたいと考えている方々が安心して暮らすことが出来るよう、地域との対話を重ねながら、生活不安の解消に向けた取り組みを進める。

一方で、住み替えたいと考えている方々には引き続き夕張に住んでいただけるよう、拠点形成の取り組みと連動した取り組みを進める。

●「解体すべき」

今後検討したい。（建替え移転の協議後）

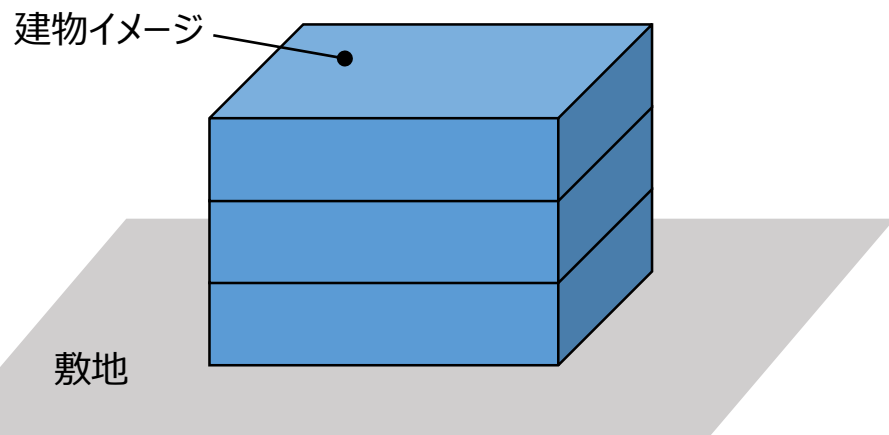
■ 庁舎整備検討委員会の進め方



■ 基本構想・基本計画とは

基本構想

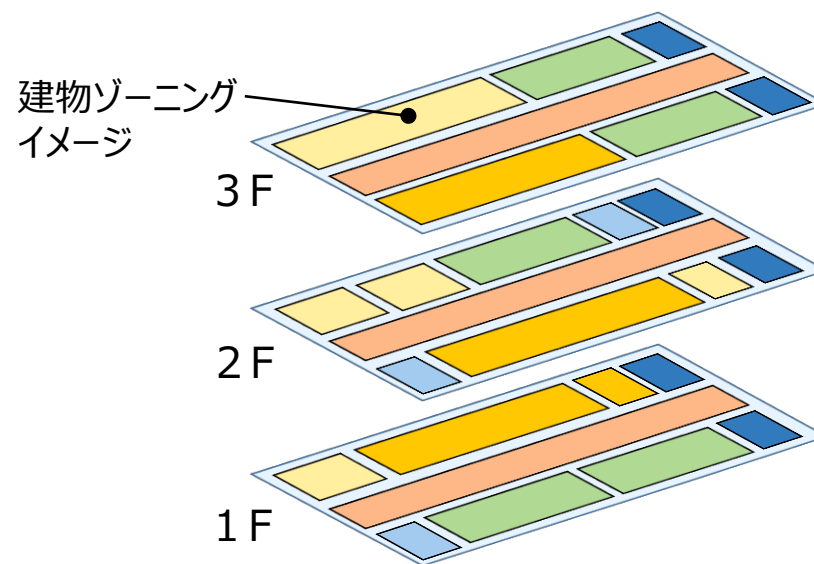
現庁舎の状況を把握し、新庁舎の考え方の「骨格」となるものを作成します。



建設エリアを決定し、施設規模を設定
(間取りは設定しない)

基本計画

基本構想でまとめた「骨格」に肉付けしていきます。



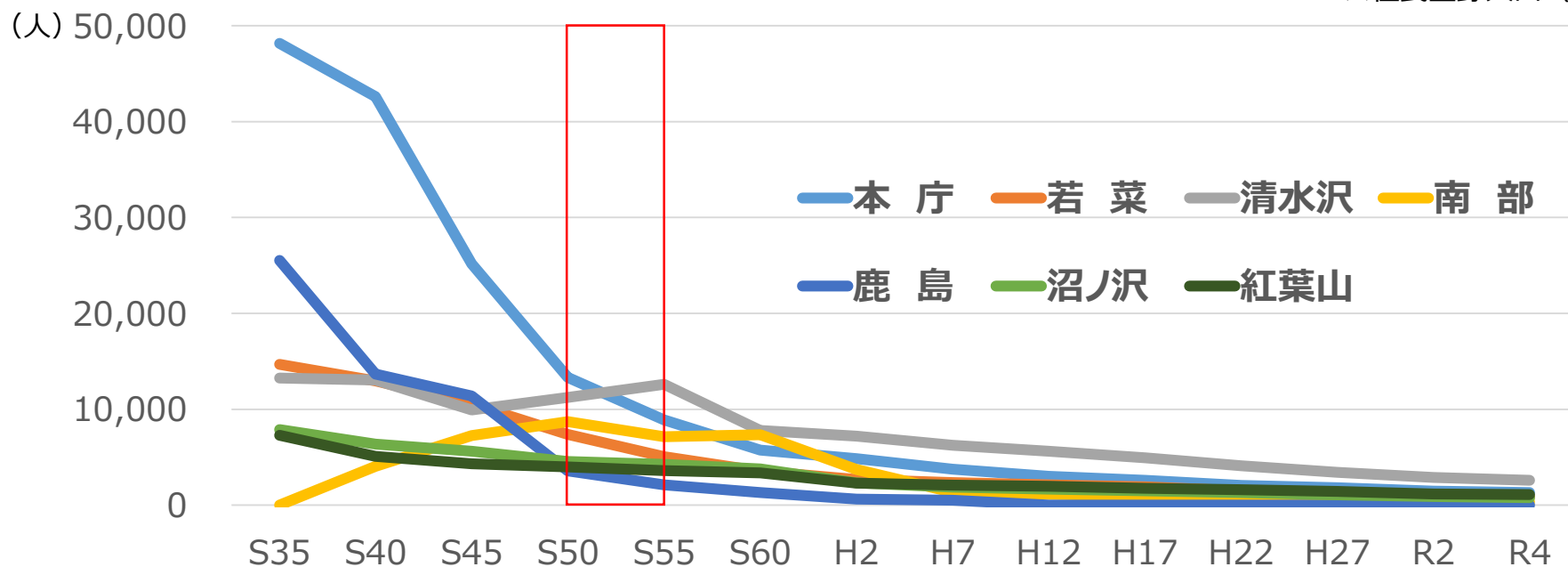
必要諸室の整理、標準的な室の大きさや条件の整理 (間取りを仮設定)

■人口の推移①

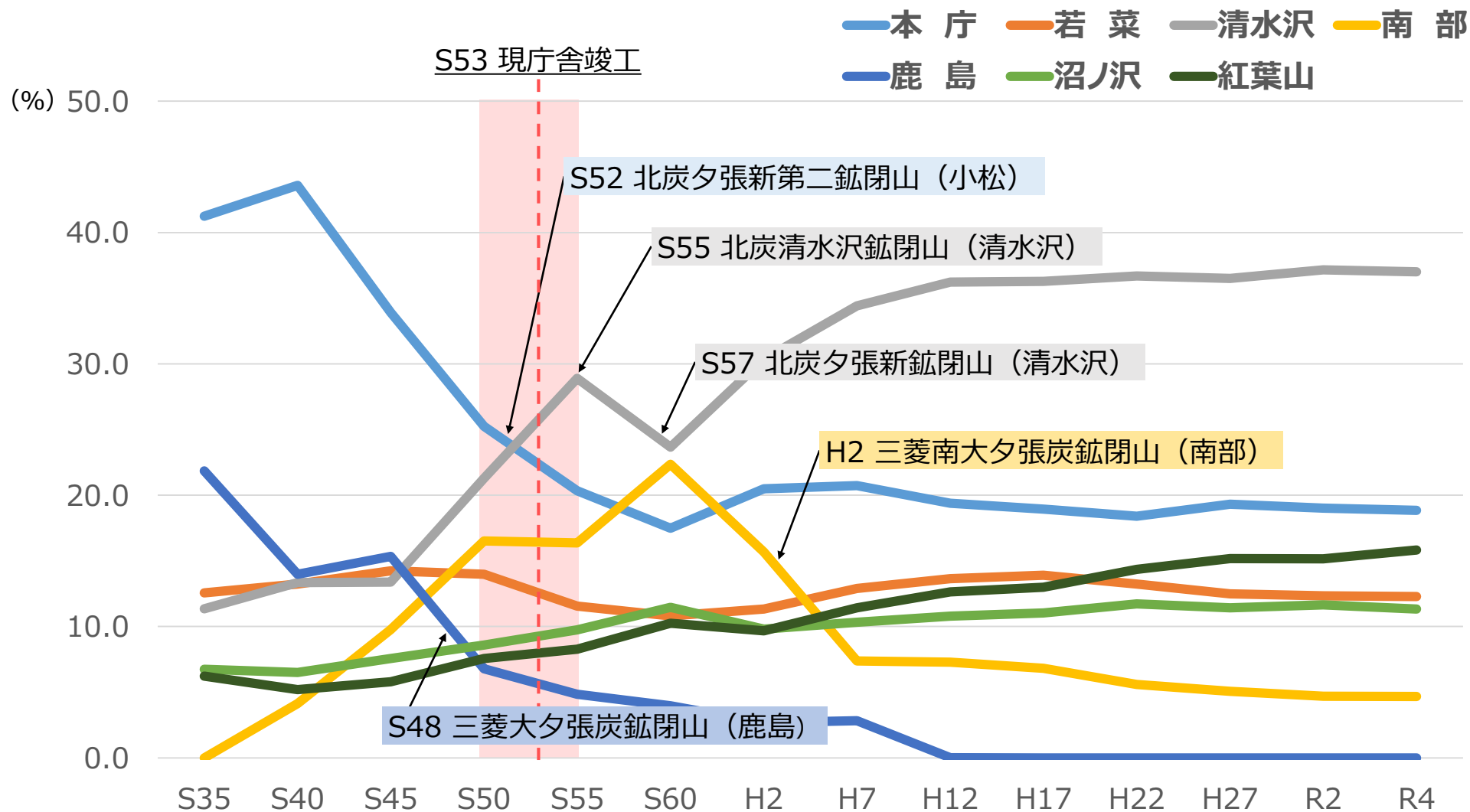
(単位：人)

	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R4
本庁	48,169	42,612	25,169	13,321	8,874	5,745	4,861	3,758	3,013	2,580	2,064	1,809	1,472	1,311
若菜	14,682	12,946	10,564	7,381	5,042	3,549	2,691	2,337	2,119	1,894	1,484	1,169	955	855
清水沢	13,257	13,057	9,938	11,237	12,609	7,774	7,203	6,238	5,629	4,940	4,115	3,418	2,878	2,576
南部	-	4,036	7,241	8,711	7,144	7,344	3,719	1,336	1,133	928	627	475	363	326
鹿島	25,516	13,676	11,381	3,583	2,114	1,306	637	513	3	-	-	-	-	-
沼ノ沢	7,877	6,365	5,612	4,536	4,255	3,766	2,325	1,871	1,677	1,503	1,314	1,070	902	789
紅葉山	7,274	5,079	4,302	3,997	3,608	3,366	2,294	2,070	1,964	1,770	1,609	1,421	1,174	1,102
合計	116,775	97,771	74,207	52,766	43,646	32,850	23,730	18,123	15,538	13,615	11,213	9,362	7,744	6,959

※住民登録人口（各年3月末）



■ 人口の推移② (夕張市の全人口を100とした場合に各地区が占める割合)



■ 職員数の推移

(単位：人)

○ 昭和54年4月1日

…現庁舎建設後最初の4月1日

○ 平成18年4月1日

…法に基づく財政再建表明直前

○ 令和4年4月1日

区分			S54	H18	R4
普通会計	一般行政	議 会	9	5	3
		総務・企画	142	73	30
		税 務	28	12	9
		民 生	62	30	14
		衛 生	81	15	9
		労 働	30	1	-
		農 林 水 産	13	8	3
		商 工	8	10	3
		土 木	46	30	15
		一般行政計	419	184	86
	教 育	158	37	9	
	消 防	92	49	40	
	小 計	669	270	135	
公営企業等会計	病 院	-	98	-	
	水 道	42	12	2	
	下 水 道	-	4	4	
	国 保	4	6	4	
	介 護	-	8	7	
	そ の 他	-	2	1	
	小 計	46	130	18	
合 計			715	400	153

※地方公共団体定員管理調査から
(各年4月1日現在)

(参考) 住民登録人口 45,804 13,268 6,959

■ 現庁舎の建設費

○工事費 16億9,000万円

- ・本体建築工事 13億2,000万円
- ・駐車場建設工事 2億6,500万円
- ・外構工事 3,000万円
- ・設備工事 5,100万円
- ・解体工事 1,400万円 ほか

○設計等委託料 5,800万円

○備品購入費 7,100万円

○土地購入費 250万円

○移転補償費 3,400万円

合計 約18億6,000万円

※決算書から (S51~S53)



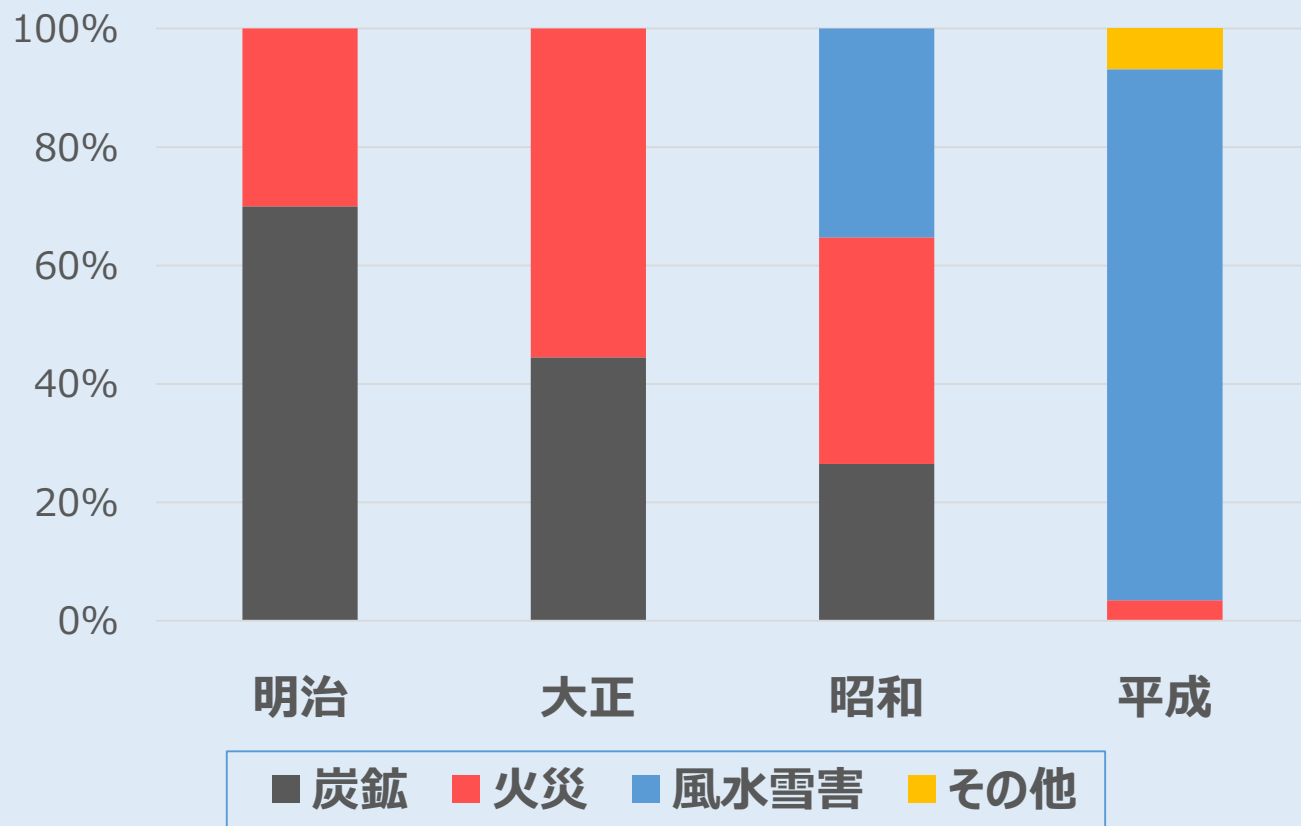
〈参考〉夕張市職員の初任給 (給与実態調査から)

	S54	R4
大学卒	97,200円	169,500円
短大卒	90,000円	151,700円
高校卒	86,300円	140,100円

■ 防災

夕張市は石炭産業の開発に対応して発展

各年代に占める災害種別の割合



○現庁舎建設当時の防災
に対する意識

「火災」への対応に比
重が置かれていたの
ではないかと推測される

※夕張市地域防災計画書 資料編 資料第1「災害の記録」を基に作成

■ 現庁舎が現在地となった理由

『夕張市庁舎の建設に関する答申』（昭和50年10月20日 夕張市庁舎建設審議会）から（要約）

（1）経済性、社会性からの考察

- * 庁舎の移転に合わせて、官公庁・都市施設を全面的に移転させることは**不可能**
- * 市庁舎だけ移転し、官公庁・都市施設が現在地に残るとすれば**市民の不便**
- * 官公庁の合理化等が考えられ、**経済界の混乱**、地域市民の**不安動揺**と**市外流出**につながるおそれ

（2）政治性、歴史性からの考察

- * 現在地からの変更は、先人が築き上げてきた地域の80年の**歴史性**を**市長自らが抹消**することに
- * 市長がある意味での閉山地域をもたらしたことになり、**政治的見地**から、それは避けなければならない

（3）都市計画性からの考察

- * **各地域の均衡ある発展**を目標に、**若菜以北の都市形態の転換**と
清水沢以南の特色ある地域発展を図らなければならない。

具体的には、

- ・**若菜以北**：住宅改造、商店街の改造、観光の開発
- ・**清水沢**、南部地区：**新鉱**を中心とした街づくり、**都市施設の充実強化**
- ・**沼ノ沢**、真谷地地区：**農業**など第一次産業地域として**都市施設の充実**
- ・**紅葉山**地区：**工場誘致**と住宅団地建設に伴う**都市施設の充実強化**

以上の観点から、**庁舎は現在地に置く。**

2.庁舎整備地区の選定案について

■ 前回資料から抜粋

- ・庁舎整備に関する市の基本的な考え方

求められる耐震性能を備え、多様化する行政需要に対応するため、耐震化を図るための整備手法は『**建替え**』とする。

建替えを行う場合の庁舎の立地については、**防災性**の観点から現地区からの『**移転**』とする。

本市の**都市拠点形成**の取り組み、**アクセス性**の観点などから、庁舎の整備地区については『**清水沢地区**』とする。

- ・清水沢地区

本市の都市拠点としてさらに強化する地区と位置付けており、拠点化を図るための方策を推進することで、清水沢地区の目標として設定している「人を誘いにぎわいがある都市拠点」の実現を目指す。

コンパクトシティ構想における清水沢地区の目標
「人を誘いにぎわいがある都市拠点」

庁舎整備地区の選定案

地区選定の観点

1. 防災性

緊急輸送道路の指定
土砂災害警戒区域の指定

2. 利便性（アクセス性）

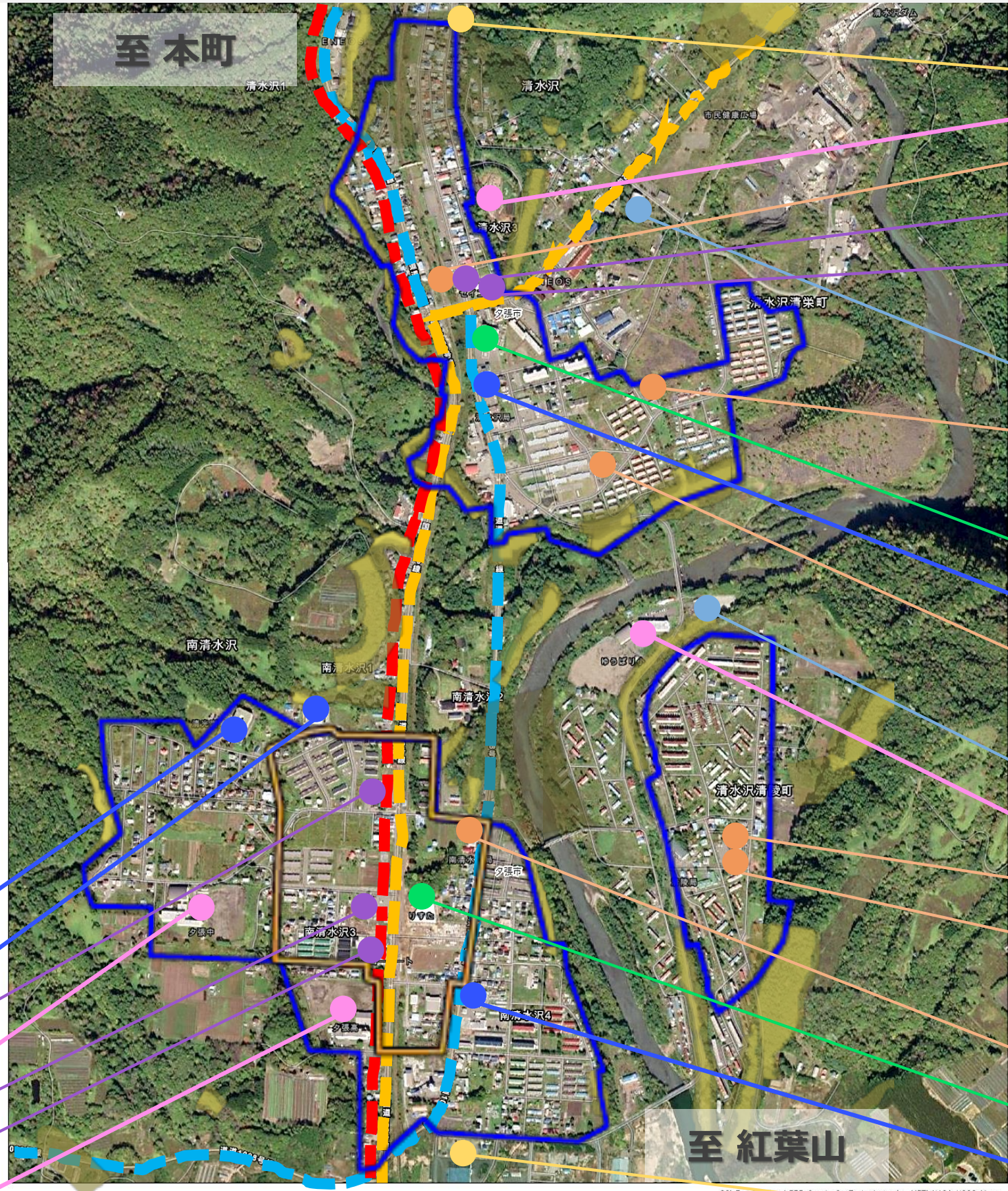
主要幹線道の状況（国道・道道）

3. まちづくり

居住誘導区域の指定
都市機能誘導区域の指定
都市機能の立地状況
公共施設の状況

観点1 (防災性) + 観点2 (利便性) + 観点3 (まちづくり)

- 【凡例】**
- 緊急輸送道路
 - 土砂災害警戒区域
 - 国道
 - 道道
 - 居住誘導区域
 - 都市機能誘導区域
 - 南支所(りすた)・消防
 - 集会施設・公衆浴場
 - 学校・認定こども園
 - 運動施設
 - 商業施設
 - 福祉施設
 - その他(交番・市場)



- 【清水沢地区】**
- 清水沢交番
 - 認定こども園
 - 清水沢生活館
 - 夕張あきんど屋
 - セイコーマート

- 【清栄地区】**
- 市民健康会館
 - 清栄生活館

- 【宮前地区】**
- 消防
 - グループホームまどか
 - 宮前浴場

- 【清陵地区】**
- 清水沢プール
 - ゆうばり小学校
 - リフレッシュセンター清陵
 - 清陵町さわやかホール

- 【南清水沢地区】**
- 南清水沢生活館
 - りすた
 - 障がい者支援施設 しみずさわ
 - 公設卸売市場

- 【南清水沢地区】**
- 清光園
 - シルバー共同住宅 陽光
 - デイサービスセンター すずらん
 - コープさっぽろ
 - 夕張中学校
 - ホーマックニコット
 - セイコーマート
 - 夕張高校

GSI, Esri, GIS, DeLorme, HERE, Garmin, GeoTechnologies, Inc., METI, NASA, USGS, Maxar

地区選定の結果

1. 防災性

- 緊急輸送道路 → **近接が望ましい**
- 土砂災害警戒区域 → **区域は除く**

該当エリア

清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢
清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢

2. 利便性（アクセス性）

- 主要幹線道 → **近接が望ましい**

該当エリア

清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢
-----	-----	-----	-----	------

3. まちづくり

- 居住誘導区域 → **区域内が望ましい**
- 都市機能誘導区域 → **区域内が望ましい**
- 都市機能立地状況 → **近接が望ましい**
- 公共施設状況 → **近接が望ましい**

該当エリア

清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢
清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢
清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢
清水沢	清栄町	宮前町	清陵町	南清水沢



防災性、利便性（アクセス性）、まちづくりの観点から、
庁舎の整備地区については『**南清水沢**』が望ましいと考える。